

A photograph of Governor Hirohiko Nishida of Toyama Prefecture speaking at a podium. He is wearing a dark blue suit jacket over a light blue shirt and glasses. The background is a plain white wall. In the foreground, the silhouettes of several audience members are visible, looking towards the speaker. The text is overlaid on the lower half of the image.

**ここが変わった！
「新しい富山」の3年目**

令和5年11月8日

富山県知事 新田 八郎

- 「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をビジョンとして掲げる「富山県成長戦略」の推進
 - ➔ R5当初予算では196事業を計上、関係人口3,513,982人（R5.3推計）
- 独自のウェルビーイング指標を策定し、政策形成プロセスに組み込む世界的にも先進的な取組みにチャレンジ
 - ➔ R5.1主観的な要素からなる本県独自のウェルビーイング指標を策定・公表
- 上記の取組みが、国の「地方公共団体における統計データ利活用表彰」において、最高賞となる総務大臣賞を受賞
- 富山県からウェルビーイングを国内外へ発信
 - ▶ 「ウェルビーイング富山セッション（R5.2）」において国内外の研究者等と意見交換
 - ▶ 民間研究所から都道府県の先進的事例として本県が選ばれ、全国へ発信（R5.10）
- 県民のウェルビーイングの認知度がUP
 - 県政世論調査で『言葉を知っている』がR4：29.6%→R5：42.9%と13.3ポイント増加

- ・ 個別分野では、**女性活躍**、**若い女性のウェルビーイング向上**、**子育て支援**、**デジタル化**、**地域交通**、**スタートアップ**、**企業立地**などで成果
- ・ さらに、県民生活に影響の大きい**物価高騰**や**豪雨災害**への迅速な対応、**新型コロナ**の円滑な5類移行を実施
- ・ 今後も「**県民目線**」「**スピード重視**」「**現場主義**」を徹底し、「**県民が主役**」の**富山県**を目指し、積極果敢にチャレンジ
- ・ 「若者からお年寄りまで、希望に満ちた富山県」、
「ワクワクすることがたくさんある富山県」、
「チャンスがあり夢を叶えられる富山県」を実現

この1年間の主な出来事 (令和4年11月9日～令和5年11月8日)

R4.12月

勝興寺国宝指定



こどもサミット宣言書に関する意見交換

R5.5月



G7富山・金沢教育大臣会合

R5.6月



第18回食育推進全国大会inとやま



食育推進全国大会 in とやま (R5.6.24、25)

R5.6・7月

令和5年梅雨前線による大雨被害

R5.8月

岸田内閣総理大臣来県



岸田総理に災害復旧支援等を要望

R5.9月

三霊山サミットinとやま

R5.10月

全国過疎問題シンポジウム2023inとやま

1年間の主な実績 (令和4年11月9日～令和5年11月8日)

I 新型コロナウイルスに勝つ！新しく力強くワクワクする稼げる産業へ！

- ・ **迅速な補正予算や適正な価格転嫁のためのパートナーシップ構築推進など物価高克服対策** 国対策を受け直ちに5月補正で対応、さらに独自に9月補正でも対応
宣言登録企業(R5.10月末) 800社…R5.2月から約3.8倍の増加

- ・ **中小企業ビヨンドコロナ補助金** R4 : 2,994件、R5も継続

- ・ **産学官連携による産業創出を支援** アルミのグリーン化や富山くすりコンソ

- ・ **企業立地の推進** IT系企業を対象とした助成拡充、さらに半導体関連企業などの立地が進む

- ・ **ベトナム訪問・MOU締結、富山デスク設置**

- ・ **韓国・江原特別自治道との協定書締結**

- ・ **T-Startup企業を選定、ハンズオンで支援**

R4 T-Startup企業6社選定、サービス・プロダクト開発5件、資金調達3件、株式の上場(2期前) 準備中1社
新設法人数(東京商工リサーチ) : R2 : 595、R3 : 704、R4 : 620

- ・ **経済の持ち直しに伴い県税収入が増加** R2:1,480億円 → R4:1,565億円 +5.7%



富士フィルム富山化学のバイオ医薬品の開発製造受託(CDMO)の拠点を設けるプロジェクトの始動式(R5.7.20)



資金調達を受けてメタバースを活用した新サービスを展開

II ストップ少子化！子育て環境日本一へ！

• 若い女性のウェルビーイングの向上

「就職期の女性に選ばれる富山県」キックオフ会議、トップセミナー(経営者等500名参加)、企業間交流会の実施
男性の育休取得促進補助金の創設 男性育休取得率 R2:8.1% → R4:15.6%

• こどもまんなか応援サポーター宣言 (R5.8)

• 岸田内閣総理大臣と意見交換 (R5.8)

県内で活躍する女性の提案もあり、国は年収の壁への支援策を導入

• 出産・子育て支援ポイント制度の導入準備

県の「子育て応援券」を電子化し、市町村と連携した「新たな出産・子育て支援ポイント制度」を導入

• 第3子以降の保育料完全無償化で市町村と合意

(R6.4から実施予定 (R6当初予算案で提案予定))

• 富山児童相談所の2拠点体制での整備を決定 児童心理治療施設も新設予定

• キャリアアップ奨励金の創設、ひとり親家庭応援事業の実施

非正規雇用労働者の正社員化や賃上げ等の処遇改善を支援

3,724世帯に1万円相当の県産食品等を提供



トップセミナー (R5.8.8)



岸田内閣総理大臣と意見交換 (R5.8.10)

III 健康寿命を延ばす！「世界のデータヘルス都市とやま」へ！

● 新型コロナの5類への円滑な移行

R5.5.7までの感染者数は全国平均を下回る

24時間相談体制(R5.4～9月 相談件数8,430件)や高齢者施設等への検査キット配布を継続

● PFSを活用した特定健診受診勧奨モデル事業

● 働き盛りの健康づくり支援 (健康ポイント) 事業

県公式スマートフォンアプリ「元気とやまかがやきウォーク」
累計ダウンロード数 R5.9:26,564人

● オンライン小児医療相談事業 R4利用者数 累計1,669人

● とやま介護テクノロジー普及・推進センター開所

R5.4～9月 相談件数359件、来場者数989人

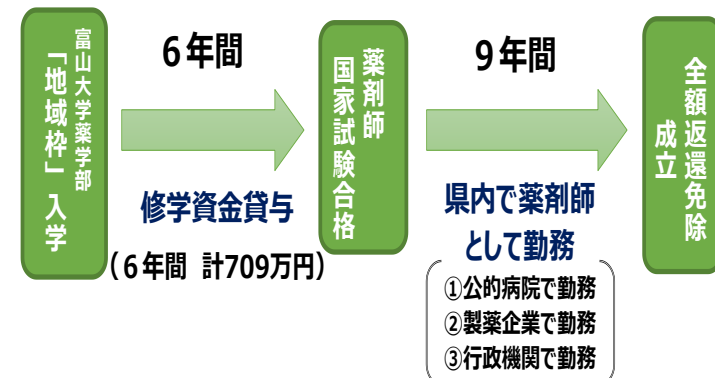
● 富山大学薬学部「地域枠」への奨学金貸与制度 の創設 R6.4月～

● 県内医療機関・薬局におけるオンライン資格確認の運用が進む

R5.10:91.6%(全国88.5%)



R5.4とやま介護テクノロジー普及・推進センター開所



富山大学薬学部「地域枠」を対象とした奨学金制度

IV デジタル化・産官学連携・市町村連携による「超」効率的な自治体運営

- ・ 産学官によるサービス連携プラットフォームの整備
- ・ DX推進オンラインプログラム「Japan Go Digital!」
- ・ **Digi-PoC TOYAMA**を推進

R4 7件、R5 9件 計16件の実証実験プロジェクトを実施

都道府県デジタルランキング2022年（野村総研DCI）
総合4位、デジタル公共サービス部門1位

マイナンバーカード保有率（R5.9）75.8%（全国14位）

- ・ **官民協働事業レビュー**を実施

R3 3事業、R4 20事業 R5 24事業 合計47事業を検証、見直し

- ・ **官民連携・規制緩和推進本部**を設置 R5.5

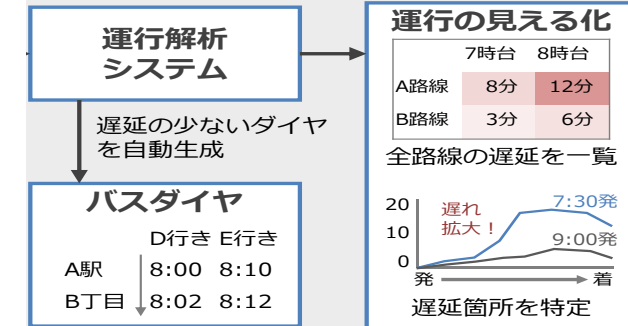
R4.4～ 官民連携・規制緩和推進デスクの活動状況（対話件数） 延べ700件（R5.9月末時点）

「ワンチームとやま」連携推進本部会議 これまで16回開催



解析

最適なバスダイヤを作成し、遅延を解消



Digi-PoC TOYAMA実証実験の事例



R5.8月開催の官民協働事業レビュー

V 農林水産業の振興と持続可能な地域社会へ！

● 農林漁業者、交通事業者への原油・物価高騰支援

化学肥料・燃料コスト低減の取組みや電気料金・飼料価格高騰への支援など
公共交通の運行の負担を軽減するため、燃料高騰等に支援

● 「富富富」の取組拡大

生産面積 H30 518ha → R5 (見込み) 1,632ha

● 農林水産物・食品の輸出を促進

農林水産物・食品輸出額 R1 5.7億円 → R4 33.3億円

● 県民の命を守る強靱なインフラへの投資

令和の公共インフラ・ニューディール政策を推進

● 豪雨等災害への迅速な対応

岸田内閣総理大臣・谷防災担当大臣(当時)へ要望 → ①早期の復旧支援 ②激甚災害の早期指定
9月補正にて過去最大規模の災害復旧費を計上、災害対応・未然防止枠の創設
小規模な農業用施設の被害に対し、対象要件を緩和

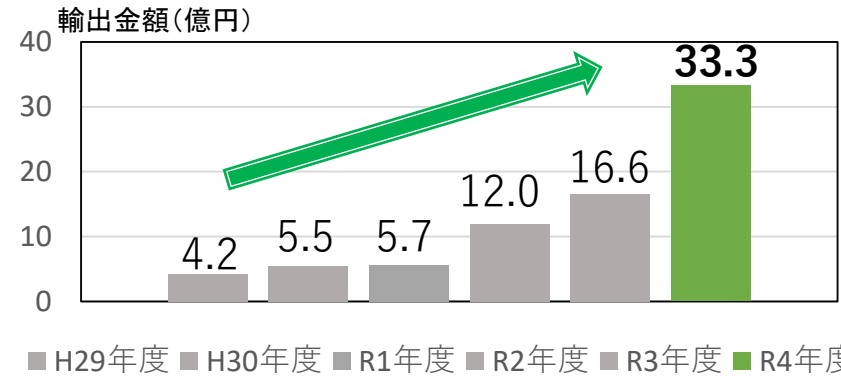
● 富山県地域交通戦略の策定や

JR城端線・氷見線の再構築に向けた取組み

新たな地域公共交通計画の策定に向けて、富山県地域交通戦略会議等をこれまで20回開催
城端線・氷見線再構築検討会を設置し利便性・快適性の向上策などについて検討 (R5.7)



令和5年度「富富富」出荷式 (R5.9.28)



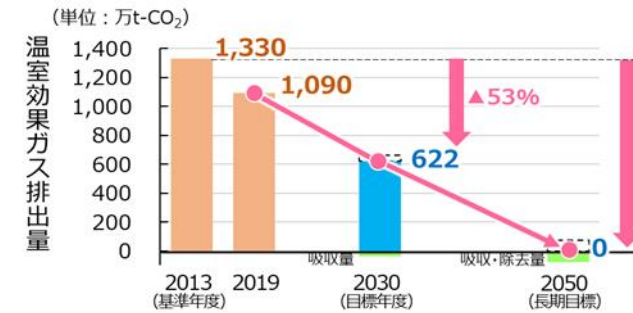
VI SDGsの推進！県民ひとりひとりが輝ける多様性のある富山へ

カーボンニュートラル戦略策定

温室効果ガスの排出削減目標：2030年度に2013年度比53%減（国は46%減）
 宅配便の再配達削減（県庁に宅配便ロッカー設置）、グリーンボンド債の導入



県庁の宅配便ロッカー



パートナーシップ宣誓制度を導入 (R5.3)

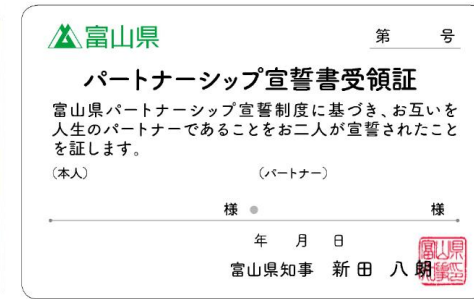
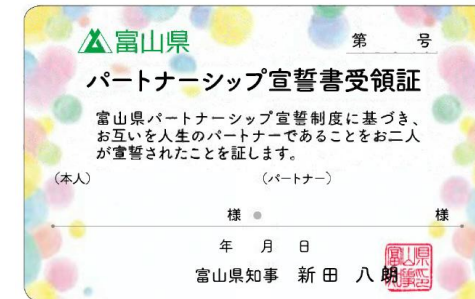
宣誓件数 42組（10/1現在）、茨城県と連携協定締結（R5.9）

おもて レインボー版

おもて 無地版

とやまワカモノ・サミットを開催

提案された意見の実現を支援
 （新川高校生が提案したバタバタチャイを実際に販売等）



部活動応援企業 登録制度を創設

登録企業 11社（R5.10現在）

インクルーシブひろばを開設 (空港スポーツ緑地)

とやま外国人活用支援デスク開設 (R5.9)



空港スポーツ緑地インクルーシブひろば

富山県SDGs宣言者数 426企業・団体（R5.10.16現在）
 富山県職員の女性管理職登用率 R2:15.2% → R5:18.8%

VII 将来の富山を担う「人材」への思い切った投資

- **小学校の全学年で少人数学級を実施**

(R5.4～ 国の方針よりも2年先行して実現)

- **「富山・金沢こどもサミット」開催**

参加した子どもたちの代表がG7各国の大臣と堂々と意見交換

- **高校生対象に富山の企業魅力発見・キャリアデザインを推進**

- **オレゴン州ポートランド起業・ビジネス研修事業**

R4 大学生等20名参加

その他、高校生20名を「高等学校生徒海外派遣事業」でオレゴン州へ派遣

- **大学生等の奨学金返還助成制度を拡充**

(県外大学の理工系・薬学部生 → すべての理工系・薬学部生)

- **デジタル人材の育成に向け県立大学情報工学部開設** (R6.4開設予定)

- **DX教育研究センターの運営・活用**

企業や自治体の職員等が集まり勉強会等を行うコワーキングスペースを設置 (499名利用)、社会人向けDXセミナー等を開催 (R4 75名受講)

- **企業のリスキリング支援制度を創設**

補助件数 48件 (10/31現在)



地元 (ポートランド) の企業を視察



「情報工学部」新学部棟

VIII アフターコロナ「移住の戦国時代」で選ばれる富山へ！

- ・ **富山県ブランディング推進本部を設置**
「『寿司』と言えば、富山」を推進
- ・ **地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地に「北陸」が選定**
R5.3選定 北陸で一体となって高付加価値旅行者の誘客を促進
- ・ **黒部宇奈月キャニオンルートへの一般開放に向けた準備**
- ・ **北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点の整備**
R6.7オープン 大阪駅西地区商業施設「KITTE大阪」内2階
- ・ **立山博物館を中核とした文化観光拠点計画の認定**
(R5.9)
- ・ **「三霊山サミットinとやま」の開催**
(静岡県・富士山、石川県・白山と観光誘客や文化研究などで連携)
- ・ **国際線の運航再開** R5.4台北便臨時運航・ソウルチャーター便 R5.8上海定期便 など



関西情報発信拠点イメージ



三霊山サミットinとやま (R5.9.1)

移住者数の増加 R2:764人 R3:823人 R4:892人

新しい未来と更なる発展に向けて

富山県成長戦略を策定（令和4年2月）

県内15市町村で、「ビジョンセッション」を開催

ウェルビーイングを成長戦略の中核に据える



「ウェルビーイング先進地域、富山」の
実現に向けた**好循環**を創出

1. ウェルビーイングの向上



2. 人材の出入り活性化

3. 経済成長

「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

成長戦略の取組み

- 社会情勢が大きく変化する中で、将来の発展に向け、**スピード感を持って、取り組むべき喫緊の課題に対応**
- 成長戦略の取組みを進めるため、6つの戦略の柱に基づき、アクションプランを策定
- 取組み開始2年目で、成長の「種」をスピーディに拡大
R4 154事業 → R5 196事業

成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」の開催

- 令和5年度は「**地方から新しいモデルをつくる。**」をテーマに県内外の参加者が熱く議論（10月13日～15日）
- 県内外の多様な方々との連携を深め、**取組みをアップデート**

主な成果

1 ウェルビーイング戦略

ウェルビーイングを通じた「出入りの活性化」と人材集積により、多様な人材が生き生きと暮らせる、活力ある地域社会づくり等に取り組む。

- 主観的な要素からなる県独自の「ウェルビーイング指標」を策定・公表（R5.1）し、政策形成プロセスに組み込む世界的にも先進的な取り組みを実施「第8回地方公共団体における統計データ活用表彰」にて、最高賞「総務大臣賞」を受賞
- パートナーシップ宣誓制度導入 全国で11番目（R5.3）

2 まちづくり戦略

地域の多様な主体と連携しながら、デジタルなど新しい技術を活用して、地域課題に取り組み、ボトムアップで富山らしい個性的なまちづくりを進める。

- 官民連携の推進
官民連携・規制緩和推進デスク（R4）、官民連携・規制緩和推進本部設置（R5）などによる体制強化
ゴールドウイン「プレイ・アース・パーク」など新たなプロジェクトが始動
- JR城端線・氷見線の再構築
新型鉄道車両の導入など利便性向上、地域に密着した事業主体への移管（年内計画策定予定）

3 ブランディング戦略

ウェルビーイング戦略により実現する高いウェルビーイングを富山県のイメージと結び付け、国内外へと発信し、ブランド力を強化。

- ブランディング推進本部の設置（R5.2）
「寿司と言えば、富山」⇒10年計画でブランディング戦略を推進
- 北陸3県連携による関西圏での情報発信拠点の整備（R6.7開業予定）

4 新産業戦略

地元企業の育成を支援し、県外の消費を呼び込み、「外資を稼げる自立した経済圏の構築、「新産業の創出」や「実証実験立県とやま」を目指す。

- 循環型アルミ産業網の構築を目指し、DX・AIを活用したアプリケーションの開発・検証^(R3~)
- 富士フイルム富山化学がバイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO）の拠点を設けるプロジェクトを開始（R9年本格始動/投資額約600億円）
- DX人材の育成のため、県立大学「情報工学部」を開設（R6.4月開設予定）
「データサイエンス学科」を新たに設置

5 スタートアップ支援戦略

経済成長を牽引する新たな企業の創出を目指し、意欲ある方が起業に挑戦しやすい環境をつくる。

- T-Startup企業を6社選定し、集中支援（R4.9~R5.2）
1社は株式の上場（2期前）準備、VC等からの資金調達3件
- 「SCOP TOYAMA」を開設（R4.10）し、オフィス環境を整備

6 県庁オープン化戦略

組織の垣根を越えて活躍する越境人材の育成、住民サービスの向上や住民参加、行政の効率化を推進する。

- 都道府県別デジタルランキング「デジタル公共サービス部門」全国1位
- 住民目線の情報発信の強化（県公式LINEのリニューアル）（R5.3）

県庁の変革

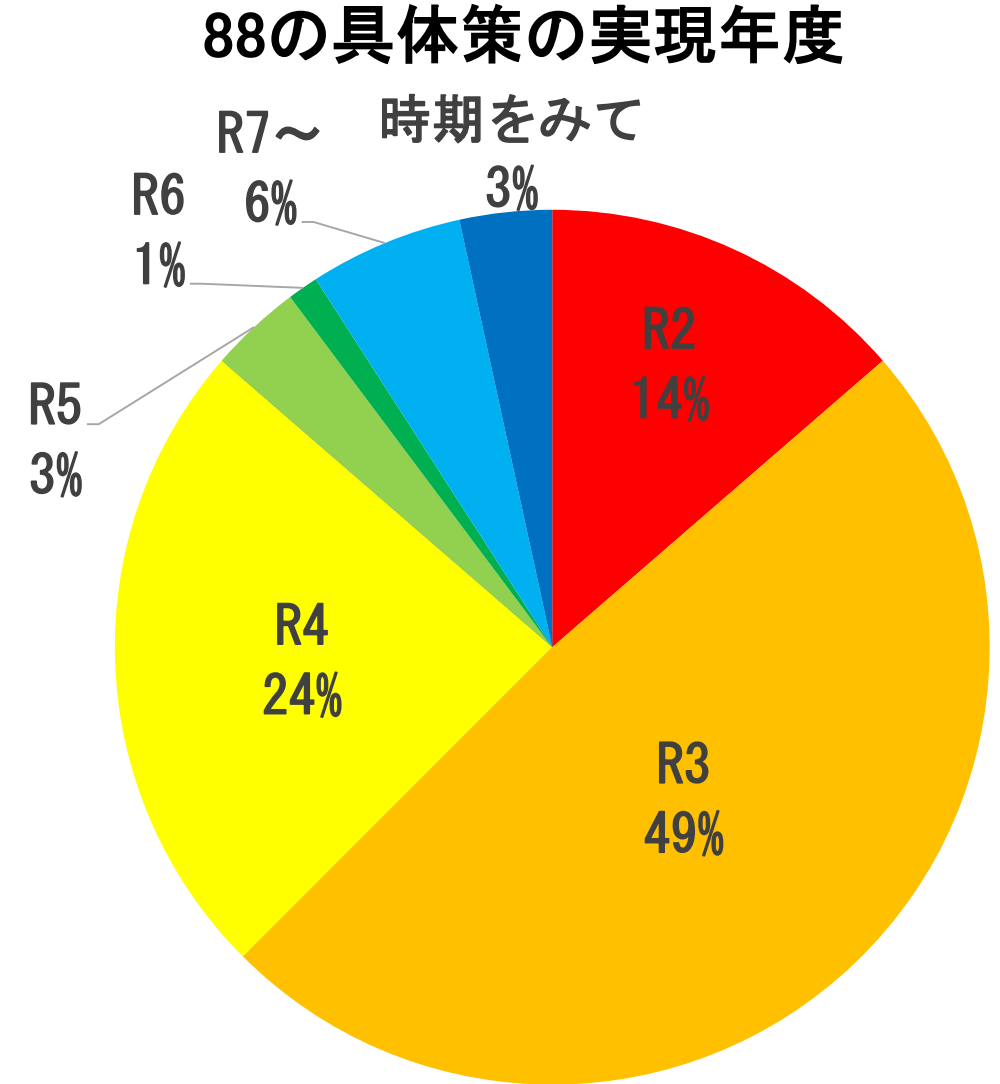
- ➡ 県民目線・スピード重視・現場主義、県民参加・官民連携
- ・ブランディング推進課、空港コンセッション導入準備班等の設置
- ・多様な行政課題に組織の枠を越えて対応するP Tの設置
R4:3PT ➡ R5:6PT
- ・官民連携人材・越境人材の育成、庁内複業制度 R4:9名 ➡ R5:21名
- ・D X・働き方改革の推進
行政手続きオンライン化：R5年度末まで5,300件、231の手続きで電子申請・電子納付可
勤務間インターバル宣言（都道府県としては2例目）、働き方改革共通アクションの実施
- ・住民目線の情報発信の強化
県公式LINEリニューアル（R4年度末：約4,500人➡R5年度10月時点：約14,500人）

八十八の具体策の進捗状況

○R4年度末までに
約87%が実現

○R5年度末までに
約90%が実現可能

○残り9項目についても
予算化などで対応しているが
早期実現に努める



実現した施策もP D C Aでブラッシュアップを進める